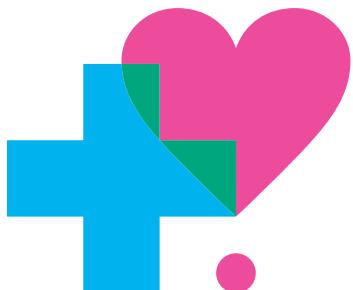


# Well-Being

「生命を守る人の環境づくり」から  
「人々がより良く生きる環境づくり」へ



## シップヘルスケアグループ 医療従事者様サポートマーク

医療従事者の皆様に寄り添う意志を表す[プラス]のかたち、  
医療従事者の皆様への感謝の意志を表す[ハート]のかたち、  
医療従事者の皆様を支える強い意志を表す[!]のかたち。

それらを組み合わせたオリジナルマークは、  
いかなる時でも医療従事者の皆様をサポートするという、  
シップヘルスケアグループの思いを表象し、  
医療従事者の皆様への感謝を視覚的に伝えるためのマークです。

第34期 株主通信 [2025年4月 1日▶  
2025年9月30日]

生命を守る人の環境づくり  
 SHIP HEALTHCARE  
シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード: 3360

## マネジメントメッセージ



代表取締役会長

古川 國久



代表取締役社長

大橋 太

グループ理念

**SHIP**

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せ い そ く だ つ  
至 誠 懈 恒

「至誠」はまごころ、「懸恒」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2025 KEYWORD

しつこく、とことん、あきらめず

# 「Well-Being領域」を展望し、新たな『進化』

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループは、当期(2026年3月期)より5か年の中期経営計画『SHIP VISION 2030』をスタートしました。本中計では、これまでの「医療」「保健」「福祉」「介護」「サービス」の分野から、今後の中長期的な成長を見据えた新たな枠組みとして、「Well-Being領域」の開拓を本格化しております。今回のマネジメントメッセージでは、「Well-Being領域」に向けた事業拡大の考え方やポイントを中心に、当社グループが思い描く新たな展望の詳細をご説明申し上げます。

## 「2040年問題」を見据え、更なる改革を推進

日本は今、人口動態の変化に伴う構造的課題に直面しています。これまで国は、「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となることで生じる「2025年問題」に対応する社会保障制度の改革を進めてきました。

しかし今後は、「団塊ジュニア世代」が高齢者となる2040年に向けて、少子化・人口減少・超高齢化が一層進行することが予想されています。この「2040年問題」への対応が、今後の重要な社会課題となっています。

2040年には、1人の高齢者をおよそ1.5人の現役世代で支える時代が到来するとみられています。このような社会構造の急速な変化を前に、医療・ヘルスケア業界も危機的状況への対応を迫られています。当社グループは、業界に先駆けて実施してきた改革を、今後さらに加速させる必要があると認識しており、その決意を示すものが『SHIP VISION 2030』です。

## 「Well-Being領域」への挑戦を本格化

新たな中期経営計画の策定にあたり、当社グループが最初に取り組んだのが事業領域の再定義です。少子高齢化が進む中、次世代を担う子どもたちがより良く育ち、高齢者がいきいきと暮らせる環境づくりがますます重要になります。

当社グループは、こうした未来へ向けて果たすべき役割を認識し、既存の枠組みを拡げ、「Well-Being領域」という新たな大きな枠組みへと事業領域を拡大することを明確にしました。つまり、従来からの「生命を守る人の環境づくり」を軸としながら、「人々がより良く生きる環境づくり」へと取り組みを広げていくということです。

当社グループは、「Well-Being領域」への挑戦をすでに数年前から開始しており、前中計期間には、本社を構える大阪府吹田市において、公園や図書館、スポーツグラウンドなどの指定管理業務を受託してきました。また、小・中学校や幼稚園・保育所など計84施設の管理業務も手がけ、地域に根差した実績を積み重ねてきました。

今後も、子どもたちがより良く育つ環境づくりに向けて、新たな事業展開を着々と進めてまいります。本中計期間において、「Well-Being領域」への事業拡大を本格化させ、「2040年問題」などの将来の社会課題に対応しながら、シップヘルスケアグループならではのソリューションを創出していく所存です。

## コアとなる「医療・ヘルスケア領域」の事業を更に深化

「Well-Being領域」への事業拡大を支える基盤として、当社グループが最優先で取り組むのは、中核事業である「医療・ヘルスケア領域」の更なる深化です。従来からの「生命を守る人の環境づくり」という主軸事業を、次の成長段階へと進化させることが不可欠

# と『成長』のステージへ

と考えています。その実現に向けた重点施策が、本中計期間における「グループ会社の再編統合」と「次世代物流構想の推進」です。これらの施策を通じて、医療・ヘルスケア領域における事業基盤を強化し、顧客ニーズへの対応力をさらに高めてまいります。

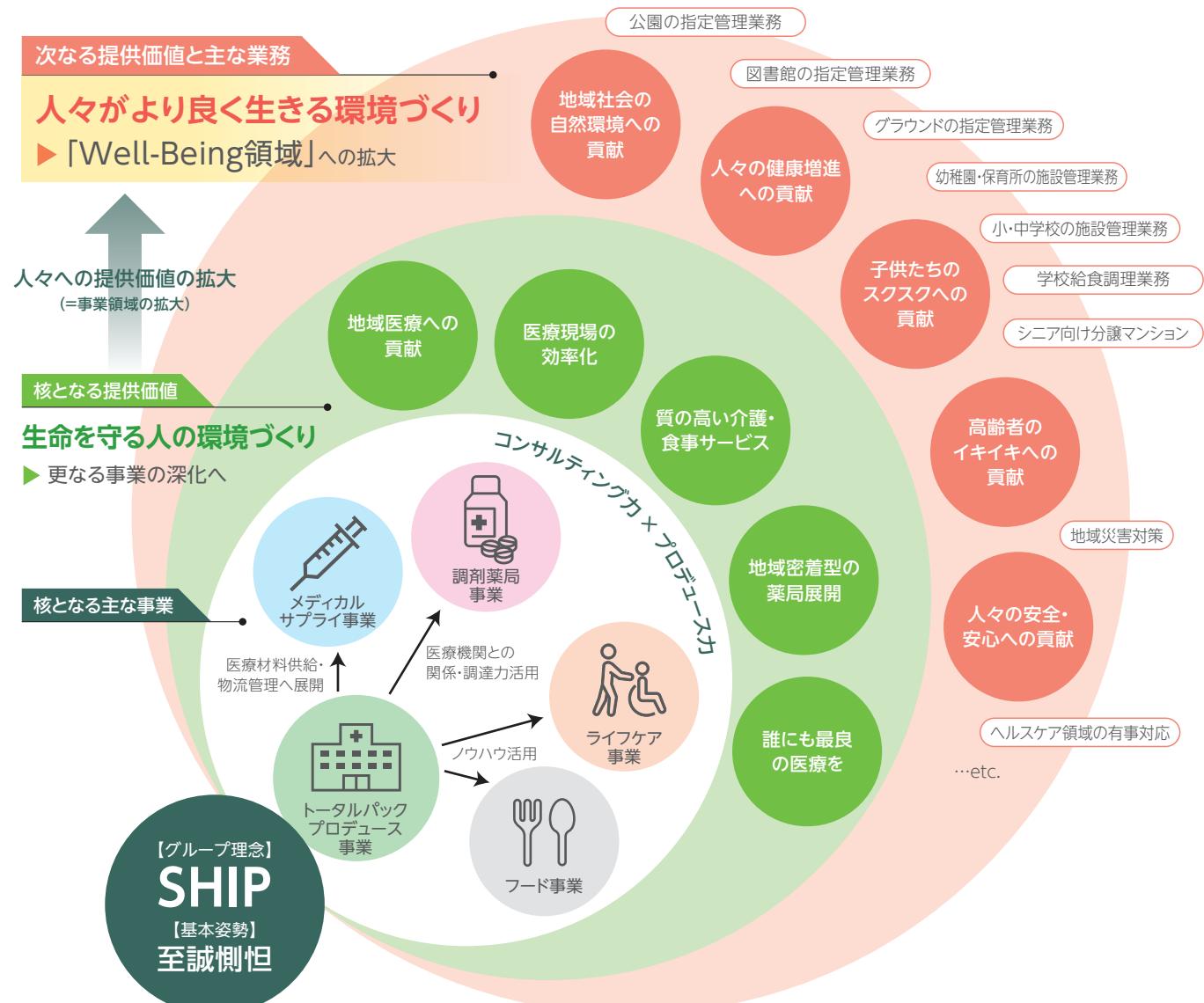
まず、グループ会社の再編統合については、調剤薬局事業会社を中心<sup>1</sup>にグループ会社を再編し、2024年4月1日時点の65社から2025年9月30日には52社体制へと再構築いたしました。この再編により、経営判断の迅速化と経営資源の効率的な活用が実現され、グループ全体のシナジー効果を最大限に引き出す環境が整備されました。今後も段階的な再編統合を継続し、組織の最適化を推し進めていきます。

同時に、医療・ヘルスケア業界にロジスティクス・イノベーションをもたらす次世代物流構想を推進しています。大阪に加えて首都圏にも物流拠点を整備することで、グループの物流ネットワークを強化し、全国網羅型の商社として顧客とメーカーの双方から信頼される集団を実現していきます。効率的な物流体制は、再編統合によって強化された組織力と相まって、お客様への迅速で質の高いサービス提供を可能にします。

このように、グループ会社の再編統合と次世代物流構想の両輪を回すことで、医療・ヘルスケア領域のコア事業を更に深化させ、当社グループの競争力を飛躍的に高めていく所存です。これらの施策は、次なる成長段階を実現するための重要な基盤となるものと確信しております。

当社グループは、積極的な成長投資と株主還元を両立させた最適な資本配分を推進し、企業価値の最大化に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、当社グループの新たな挑戦にご期待いただき、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 当社グループにおける人々への提供価値拡大 (事業領域拡大)の方向性



## 【特集】Well-Beingの推進

# 公園事業を中心に、Well-Beingへの取り組みが着実に拡大

当社グループミッション「生命を守る人の環境づくり」から、自然環境などを含めた「人々がより良く生きる環境づくり」のWell-Beingの領域へ、公園事業を中心に拡大してまいりました。大阪府吹田市江坂公園及び吹田市立江坂図書館、吹田市桃山公園での公園事業に続き、吹田市中の島公園及び吹田市立中の島スポーツグラウンドでも再整備に向けて、2025年11月より工事が始まりました。またその取り組みが、ガンバ大阪YouTubeチャンネルのオリジナル番組「CAZI散歩」にて取り上げされました。

## 【公園事業】

## 中の島公園再整備の進捗状況

 大阪府吹田市中の島公園の改修イメージ図



Park Cafe SMILE(仮) イメージ図



管理棟リニューアル イメージ図

中の島公園は、スポーツ施設と公園全体が一体的につながるように、2026年9月までに再整備工事が完了する予定です。野球場だったメイニングラウンドを全面人工芝生に改修して、野球・サッカー・グラウンドゴルフ等、多種目のスポーツが公園内で利用できるようになります。

公園内の駐車場を拡大し、管理棟もリニューアルして、バーベキューができるテラス席もあるカフェを新設、公園内のベンチや木陰などで飲食してもらえるテイクアウトメニューも充実させて、幅広く市民の方々が利用してもらえる公園に生まれ変わります。

## 今後の再整備日程(予定)

2026年 件名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
グラウンド (人工芝生化)									リニューアル
管理棟 (改修)				改修					リニューアル
カフェ (新築)				新築工事			開店準備期間		開店

 ガンバ大阪YouTubeチャンネル「CAZI散歩」の撮影風景



グラウンド改修イメージ説明



カフェのテイクアウトメニュー案

 CAZI散歩 第二百七十一話  
中の島スポーツグラウンドで  
ガチ練習＆再開発トーク!

右記QRコードより、  
ご視聴できます。



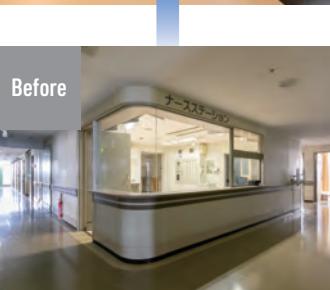
# トピックス

## 【トータルパックプロデュース事業】

### 今後の病院リモデル案件獲得に向け 病院・介護施設の各種リニューアル案件を積極受注

近年、手術室・ICU等の設備工事や医療設備の一部改築などの「リニューアル案件」の需要が拡大傾向にあります。こうした動きを受け、当社グループでは、従来のプロジェクト案件に加え、多様なリニューアル案件についても、受注活動を積極化しています。2024年には、当社グループと工事請負契約を直接締結する企業との協業組織「MFグリーンの会」を発足しました。現在、協力企業は28社まで拡大しており、多様化する医療現場の改修ニーズに迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えています。さらに、家具の製造・販売を行うグループ会社2社もこの取り組みに参画し、リニューアルへの提案力を高めています。リニューアル案件への積極的な対応を通じて、今後の病院や介護施設等、リモデル案件の獲得へと繋げていきます。

#### リニューアル事例① ナースステーション改築案件



ナースが業務を行いやさしいよう、動線の整理、機能面の向上を図り、患者様があたかみを感じられるような柔らかいデザインに変更。

#### リニューアル事例② 病室(大部屋)改築案件



患者様が快適な入院期間を過ごしていただけるよう、部屋の空間を最大限活用できる設計のもと改築を行った。

## 【メディカルサプライ事業】

### 首都圏における新物流構想を始動

当社グループでは、全国網羅型商社としての業界ポジション確立に向け、従来の大坂ソリューションセンターに加え、新たな物流構想として、首都圏における自動倉庫の整備を含む新たな物流体制への投資を進めています。特に、医療材料に関しては、迅速かつ正確な供給が医療現場の安全・安心に直結することから、持続可能で効率的な物流体制の構築が急務となっています。当社グループは、こうした医療現場のニーズに対応可能な物流基盤の整備に取り組み、より高品質な供給体制の実現を目指しています。

#### 施設概要

延床面積：4,274坪(14,129m<sup>2</sup>)  
取扱品目数：約70,800品目  
稼働開始：2025年12月(予定)

#### 自動倉庫システム「RENATUS」\*



- AI・ロボティクス・RFIDなどの先端技術を最大限活用した、日本初の自動倉庫システムを導入
- これにより、大学病院規模(病床数850床程度)の病院におけるピッキング業務の場合、従来の12人から1人に削減可能

\* 超高効率の自動倉庫の製造・販売を行うRENATUS ROBOTICS合同会社が開発した統合型自動倉庫システムの名称。

## トピックス

### ODA専門貿易商社が当社グループに参画

2025年5月に、政府開発援助(ODA)の専門商社である「株式会社テックインターナショナル」が当社グループに加わりました。同社は、独立行政法人国際協力機構(JICA)の専門家としてODA事業に携わってきた経験を基に、1990年に設立された会社であり、これまで30年以上にわたり、世界各国で国際貢献を果たしてきた実績を有しています。ODA関連売上の約60%が医療系であることから、既に当社グループの商社系やメーカー系企業との協業がスタートしております。今後は、グループ力を最大限に活かし、ODA分野におけるさらなる成長と社会貢献の拡大を目指してまいります。



TEC  
INTERNATIONAL  
INC.

医療機器・  
医療設備の  
納品・据付



MRI



医療コンテナ



モンゴル



ネパール



パキスタン



カンボジア



ジブチ



ウクライナ



ジャマイカ



タジキスタン



フィリピン

...

### 再編統合によるグループ総合力の発揮

グループ会社の自立的な成長を軸としつつも、経営資源を効率的に活用しグループの総合力を発揮するため、2025年3月期より再編統合を進めております。これにより、2024年4月1日時点では65社あったグループ会社は、2025年9月末時点で52社となりました。

今後は特に、メディカルサプライ事業をメインとしたグループ再編統合を進めていく方針です。同事業は、日々お客様に最も近い現場で業務を遂行していることから、信頼構築に加えて、様々なビジネス情報を収集する役割も担っています。さらに、同事業で得られた信頼や情報を、トータルパックプロデュース事業など他の事業セグメントへも展開することで、1顧客当たりでの当社グループ全体としてのシェアアップを図っていきます。

メディカルサプライ事業を軸とした  
顧客リレーションの強化

#### 与信力・交渉能力の向上

- メーカー交渉
- 病院価格下げ圧力

#### 在庫管理・物流能力

- 物流センター  
(関西から関東への拡大)

#### 分析ノウハウ

- IT化、SIPやデジタルツインへの挑戦
- 経営データの蓄積と分析

グループ  
総合力の  
発揮へ

## 株主アンケート集計結果

アンケートへの  
ご協力ありがとうございました。

第33期株主通信において株主の皆様へのアンケートを実施いたしました結果、349名の方々よりご回答を頂戴いたしました。ご協力に心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆様のお声の一部を、ご紹介いたします。

当社株式の今後の保有方針を教えてください。

(複数回答あり)



当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか?

(上位3点選択)



その他ご意見

- 持続的な企業価値の向上に向けて、利益成長と株主還元をバランスよく進めて欲しい。
- 稼ぐ力、収益を向上させる事業を構築し、事業の集中、成長性をアップしてください。
- 新中期5ヵ年経営計画が達成されるよう邁進されることを願っています。
- 9期連続増配はうれしいが、株価ももっと上がってほしい。
- 人びとが健康で幸福な生活ができるよう頑張ってください。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆様より多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

## 業績の概要



### 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

	2023/3	2024/3	2024/9	2025/3	2025/9 当中間期	2026/3 (通期予想)
売上高	572,285	630,988	310,032	678,229	333,385	700,000
営業利益	21,144	24,539	7,743	24,779	8,179	26,000
経常利益	20,607	25,219	8,414	26,023	8,722	26,500
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	12,063	13,799	5,539	15,128	5,432	15,500
総資産	381,977	387,562	362,218	381,702	360,040	—
純資産	131,115	142,226	142,227	150,280	146,180	—



### セグメント情報 (2025年4月1日～2025年9月30日)

#### トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が直近5年間でも最も下期偏重の計画となっていることに加え、M&A手数料等の一過性の諸費用を計上したこと等から通期計画に対しての進捗は順調に推移しているものの、前年同期比では減益となりました。この結果、売上高は51,156百万円(前中間連結会計期間比6.4%増)、セグメント利益(営業利益)は2,417百万円(同3.2%減)となりました。

#### メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に稼働を開始したSPD施設の業績が堅調に推移したことにより、業績は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は246,756百万円(前中間連結会計期間比8.7%増)、セグメント利益(営業利益)は2,835百万円(同11.8%増)となりました。

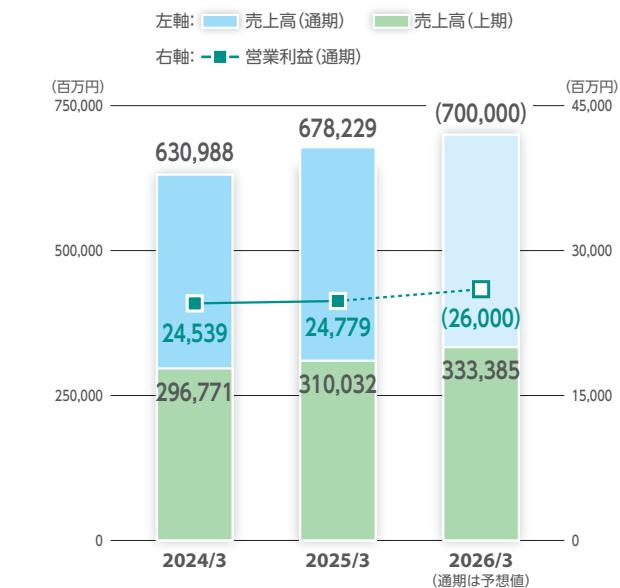
#### ライフケア事業

介護サービス事業におきましては、物価上昇やサービス品質を維持するための経費増加を背景に、事業運営コストが上昇いたしました。また、食事提供サービス事業におきましては、コメをはじめとする食品価格高騰の影響を受けました。この結果、売上高は18,542百万円(前中間連結会計期間比1.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,017百万円(同11.9%減)となりました。

#### 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、再編統合による経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は16,929百万円(前中間連結会計期間比2.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1,976百万円(同27.8%増)となりました。

### 業績トレンド



### セグメント別売上高

	2025/9 当中間期	2026/3 (通期予想)
トータルパックプロデュース事業 (TPP)	51,156	134,000
メディカルサプライ事業 (MSP)	246,756	494,500
ライフケア事業 (LC)	18,542	37,000
調剤薬局事業 (PH)	16,929	34,500
合計	333,385	700,000

## 会社情報

(2025年9月30日現在)



商 号 シップヘルスケアホールディングス株式会社  
 設 立 1992年8月  
 代表取締役会長 古川 国久  
 代表取締役社長 大橋 太  
 資 本 金 155億5,301万円  
 決 算 月 3月  
 従 業 員 数 連結 7,947名(正社員) 16,045名(従業員)  
 本 社 所 在 地 〒565-0853  
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
 TEL: 06-6369-0130  
 FAX: 06-6369-3191



代表取締役会長	古川 太
代表取締役社長	大橋 久
代表取締役副会長	小西 賢
代表取締役副会長	小川 隆
取締役副社長	横山 宏
常務取締役	横山 裕
取締役(社外)	海野 真
取締役(社外)	安田 芳
取締役(社外)	佐野 精
監査役(社外)	今別府 敏
監査役(社外)	伊藤 雄
監査役(社外)	西尾 文
監査役(社外)	信也 代
監査役(社外)	水島 藤
監査役(社外)	戸田 一
監査役(社外)	成田 重
監査役(社外)	南浩 信
監査役(社外)	佐野 行

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

## シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号  
 TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>

## 株式関連情報

(2025年9月30日現在)



発行可能株式総数	128,000千株
発行済株式総数	94,350千株
株主数	4,178名



## 株式分布状況(株主数別)



個人・その他	3,804名	91.05%
国外法人等	276名	6.61%
その他法人	51名	1.22%
金融機関	23名	0.55%
金融商品取引業者	23名	0.55%
自己名義株	1名	0.02%

## 株式分布状況(株式数別)



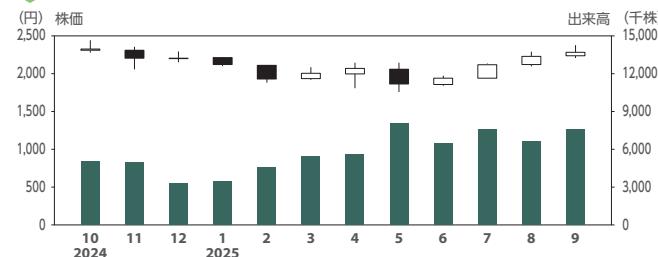
国外法人等	43,522千株	46.13%
金融機関	19,812千株	21.00%
個人・その他	15,220千株	16.13%
その他法人	13,238千株	14.03%
自己名義株	2,215千株	2.35%
金融商品取引業者	340千株	0.36%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。



	[持株数]	[持株比率]
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,358千株	11.24%
株式会社コッコー	7,977千株	8.66%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	7,348千株	7.98%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,643千株	5.04%
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,926千株	3.18%
春日興産合同会社	2,800千株	3.04%
古川 幸一郎	2,460千株	2.67%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,389千株	2.59%
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,168千株	2.35%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,128千株	2.31%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。



## 株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

定時株主総会 毎年6月中

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.shiphd.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## (ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

